

子どもたちに 挑戦する姿を！

薩摩中PTAが、10月30日の同校の文化祭で、息の合った合唱を披露しました。

薩摩中PTAでは、文化祭で親も歌に挑戦しようと発案があり、希望者が10月9日から6回2時間程度、築瀬かおり教諭指導のもと夜に集まって音楽室や新体育館で練習を重ねました。合唱は学生時代以来という方も多く、練習も熱心に取り組んでいました。

文化祭当日は、21名が参加し白と黒の揃いの服に男性は蝶ネクタイで登場。背景に「プロジェクトS」と名付けられた新体育館建設の様子も映し出される中で、四季を連想させる曲が折り込まれた「ふるさとメドレー」と「地上の星」を熱唱。生徒からも多くの拍手が送られていました。

同PTA文化部長の富森栄充さんは「慣れない事で疲れたが、練習の成果が十分発揮できた。来年以降も続けられるようがんばりたい。」と話していました。

戦争のない 平和な世の中であってほしい

11月8日、町戦没者慰霊祭が戦没者慰霊碑前で開催されました。

当日は遺族や町関係者など約140名が参加。慰霊碑の前で、国家斉唱、黙とうの後、山口町長が「日本は今、平和と民主主義の上にめざましい発展を遂げていますが、これも祖国のために尊い命を捧げられた皆様のご加護の賜物です。私たちは今後一層、ご遺族の方と力を合わせ明るい平和な町づくりに努力することを誓います。」と慰霊の言葉を述べました。

式典はその後、献詠、参加者全員による献花と続き、自衛隊の音楽隊が奏でる音楽の中、遺族は若くして戦場に旅立った故人を思い出しているようでした。



▶ 慰霊祭での献花の様子

深水敬吾さん(広橋) 旭日単光章を受章

求名の深水敬吾さんが旭日単光章を受章されました。

深水さんは、昭和52年から県営総合農地開発事業北方地区の推進委員として事業推進に努められ、昭和62年からは、町土地改良区理事長及び県の理事として組合員の先頭に立ち土地改良区の運営、基盤強化に尽力されています。今回の受章について深水さんは「とても感激しています。」



▶ 今回受章された深水敬吾さん

組合員皆様にご協力をいただいたおかげと喜んでいきます。」と話されました。

〔詩〕

わたしとピアノとライオン
中津川小三年

5名による共同作品
わたしが、お腹をたいて
もきれいな音はでないけど、
ピアノはわたしのようになつとも動けない。

わたしがいくら走っても、
ライオンには追いつけないが、
ライオンはわたしたちのようにはしゃべれない。

わたしとピアノとライオン、
みんなちがってみんないい。



一番と言っているほど楽しみにしていたスペースワールドへ行った。思いきり楽しんだ分、四時間程の時間があつという間に過ぎてしまった。
この三日間、様々な事を学び、楽しみ、笑顔の絶えない、自分にとって最高の思い出と最高の時間になったと思う。私に刻まれた、みんななどのこの思い出を、私はきつと忘れない。